

## 丸亀市新市民会館「(仮称)みんなの劇場」整備意見交換会の報告

### 1. 開催日時

令和3年11月10日 19時～21時(マルタス1階 多目的ホール1・2)

### 2. 参加者

108名

### 3. 意見交換会での意見の概要と市の考え方

#### (1) 市民からの意見に関すること

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>市民に誤解がある。議会だよりに図面が掲示され、「もう決まったこと」と思われている。</p> <p>自治基本条例があり、施策をやる時に市民に説明を行い、意見をもらい、それを市が検討するという規則がある中で、市民会館の説明会は初めてである。今後も意見が出てくると思うが、募集期限、検討期間、回答の説明をいつ行うかを説明いただきたい。</p>	<p>議会だより11月号には、市民会館整備特別委員会での審議の経過を示し、現在継続して検討中の図面を掲載しています。</p> <p>建設場所を旧庁舎跡地に変更すること、大ホールの客席数は1,300席とすること、児童館と生涯学習機能を追加することについては決定事項です。諸室の配置や機能面などについては、現在、基本設計で検討しています。</p>
2	<p>検討している設計の経過・計画について、市民からも意見を提案するという形をとるべき。</p>	<p>市民会館整備事業に関する市民の皆様からご意見をいただく機会につきましては、基本設計前に策定しました基本構想と整備計画の策定段階において、その案をお示ししてパブリックコメントを実施しています。また、基本構想の段階から車座集会を開催し、意見交換を重ねており、それらを基に基本設計に取り組んでおります。</p> <p>車座集会による市民の皆様からのご意見は随時募集しており、検討期間は特に定めておりません。</p> <p>なお、11/10に開催した意見交換会は、基本設計をまとめる前段階であり、市民の皆様からのご意見を参考にして、市民会館整備特別委員会にもお諮りし、基本設計の検討に生かしていこうとするものです。いただきましたご意見</p>

		につきましては、本書にて市の考え方を整理し、市のホームページに掲載いたします。
3	意見交換会を早く開催してほしい。	意見交換会はもう少し早く開催したいと考えていましたが、コロナ禍で集まらない時期が継続しておりましたのでこのタイミングとなりました。
4	次回の開催について	計画策定に伴うパブリックコメントの実施や地域に向いての車座集会の開催など、これまでの事業進捗に際し、自治基本条例に基づき、市民の皆様のご意見を伺ってきました。今回の意見交換会でいただいた意見も参考にしながら、今後、議会(市民会館整備特別委員会)と十分に協議をし、事業の具現化に努めてまいりたいと考えております。 次回の意見交換会の開催は現時点では未定ですが、小規模な人数での車座集会は引き続き実施し、市民の皆様からより丁寧にご意見をお伺いいたします。

## (2) 建設場所に関すること

No.	ご意見	市の考え方
5	塩屋町にあった倉敷紡績が閉鎖になり、現在は更地で、買い手や借り手を待っている。敷地面積が 56,000 m <sup>2</sup> と広く、駐車場が確保でき、高さ制限はおそらくなし。駅を起点に考えると、大手町 4 街区と同じくらいの距離であり、さぬき浜街道などアクセスがよいと考えられる。	市民会館の建設場所は、大手町地区 4 街区再編整備構想策定の過程で複数候補地を比較検討し、大手町地区 4 街区内に決定しています。 現在、本市におきましては、人口減少、低成長時代にあり、まちの活力を維持し、持続可能なまちづくりを実現するため、居住や都市機能を一定のエリアに集約させる「コンパクトシティ」の形成に向けた取り組みを推進しています。 現在の建設場所につきましては、都市交通ネットワークが充実し、既存のインフラを有効活用でき、行政コスト抑制の観点からも優位な場所であると考えています。

### (3) 建物の向きについて

No.	ご意見	市の考え方
6	<p>丸亀は歴史、城下、丸亀城のまちであり、丸亀城正面の通り道は古くから存在し、大手前通りであった。通りに向かって市役所と市民会館が建つことで、お互いが対面するように並び、奥にある丸亀城が引き立つこととなる。市役所が西向きであるのに対し、市民会館が南向きであるのはおかしい。</p>	<p>大手門前通りへの意識は強く持っており、丸亀城への眺望はもちろんのこと、丸亀城側からの市庁舎、市民会館の見え方についても十分に考慮しながらレイアウトを検討しています。</p> <p>市庁舎と市民会館の間の市道の中心線を丸亀城への景観の中心軸とし、市庁舎西側の外壁後退距離と同じ距離で市民会館東側の外壁線を設定することで、それぞれの建物の対称性を強調するものです。</p> <p>また、大ホールは北側に舞台、南側に観客席を配置し、施設全体は、南向きと東向きに大きく開かれたレイアウトとしております。</p> <p>南側は丸亀城の素晴らしい眺望を背景として、市民ひろばとの一体的利用を図り、それぞれの特性を活かしながら相乗効果や新しい利活用への可能性を期待するため、丸亀城への正面性を意識しています。</p> <p>東側は市庁舎やマルタスとの連携を図るため、人の流れやにぎわいを誘発する動線を意識しています。市民が日常的に活動するスペースを施設の東側に配置し、活動が見えるように設定しています。</p> <p>なお、前面市道に対し、市庁舎入口と同じ向きに配置することとしていますので、それぞれの建物が対面するものと認識しています。</p>

7	<p>商店街側からの意見だが、商店街を抜けると丸亀城が見えるという配慮は良い。入口南向きというのを、東か西にしてほしい。入口を西面にしてくれると、通町からは市民会館にすぐ入ることができる。通町や富屋町は、市民会館が完成すると、市民は喜び、商店街も潤うことでまちが活性化する。玄関が東側の意見は、大手町としての意見もあったが、東、西どちらでもよい。市民のことを中心に考えて欲しい。</p>	<p>敷地北側から見た丸亀城の景観に配慮し、建物で最も高くなる大ホールやフライタワー（舞台上部の空間）の影響を小さくするため、大ホールを敷地中央、南向きに配置することとしています。</p> <p>市庁舎やマルタスとの連携が求められる東側や市民ひろばとの一体的利用を図りたい南側は、活動が見え、人の流れやにぎわいを誘発する動線を意識して、東向きと南向きに大きく開かれたレイアウトとしております。</p> <p>また、大ホールやフライタワーによって、敷地の南北で人の流れが分断されないように、大ホール北側に向けて人の流れやにぎわいを誘発し、商店街側からもアクセスしやすい入口や動線を確保しています。また、市民会館の北側に交通結節点となるロータリー空間を整備することで、丸亀駅や商店街への人の流れを生み出すことも想定しています。</p> <p>なお、西側については、搬入口や楽屋などバックヤードとしての機能が必要であり、利用者の活動が見えにくい場所になりますが、入口を1箇所設け、利便性を図ることとしております。</p>
8	<p>丸亀の特徴が出ているプランである。事務局からの建物の向きの説明では、東にも向いており、市役所と一体的な利用ができるという話があったので、東に開いていないという話ではない。</p>	<p>市民会館の東側は市庁舎やマルタス側からの動線を意識し、市民が活動する様子が見え、有機的に連携する動線に配慮しています。</p> <p>市民会館の建物は、市庁舎やマルタスとの対称性を意識し、市庁舎入口と同じ向きに配置することとしていますので、市庁舎と対面した東にも開けたレイアウトであると認識しています。</p>

9	<p>建築や歴史の観点では、「東面を玄関とし、南面の正面性はない」という考え方もあると思うが、資料の写真をみると、日常的な入口と感じるのは東側にも見えるし、南側は家でいうと、縁側のようなぬくもりを感じる。建築的には正面という言葉を使うべきかもしれないが、そこまで考えなくてもいいイメージである。</p>	<p>市民会館の設計にあたっては、来館する様々な目的に応じた利用動線を想定しています。東西南北それぞれの入口は、隣接する周辺施設との連携や地域との関係性などを考慮して検討したものです。</p> <p>東面は市庁舎やマルタスとの前面市道が高質空間として歩行者専用道路となること、南面は市民ひろばとの一体的利用を更に強化することを見据え、最適と思われる位置に入口を配置しています。</p>
10	<p>これまでに東向きについては素案もなかった。</p>	<p>基本設計の修正案を検討する際には、旧庁舎跡地の敷地内で、大・小ホールの位置や向き、各諸室の配置などと併せて様々な検討を重ねております。その結果として、利用動線や周辺施設との関係性、景観などの観点から大ホールを南向きに配置するレイアウトが最適と判断したため、これまでの特別委員会にもご提案し、ご承認をいただいているものと認識しています。</p>

#### (4) 設計の内容に関すること

No.	ご意見	市の考え方
11	<p>■建物の高さについて</p> <p>・劇団四季は 11tトラックで荷物を運び、舞台上部の高さは最低 29m必要と言われていた。高さ制限 25m の敷地に計画するのはおかしい。</p> <p>・香山建築研究所が設計した東広島市のホールは 30m、あい設計が設計した四国中央市ホールは 29m である。大ホール断面図を示していないが、高さ制限 25m の中でどう設計しているのか。また、使い勝手が悪くならないかといった利用想定したうえで検討しているか。</p>	<p>市民会館の建物で最も高くなる場所は、大ホール舞台上部にバトンや照明を吊る設備のあるフライタワーという施設です。</p> <p>このフライタワーの高さで演目が決まるというものではありません。客席側から舞台を見た時に額縁状に設置された「プロセニウム」という構造物があり、その高さは演目によって異なります。このプロセニアムの高さ設定により、フライタワーの高さも設定されることとなります。</p> <p>建設場所は、丸亀城の景観への配慮から高さ 25m の制限がありますが、現在、国内で行われる多様な演目に対応できるプロセニアムの</p>

		<p>高さを設定したうえで、フライタワー内部の舞台機構の構造を検討しています。舞台上部空間での納まりや設備の操作性、舞台奥行への影響なども考慮しながら検討を進めています。詳細については、検討が進んだ段階で特別委員会にてご提案いたします。</p>
12	<p>■大ホール客席について</p> <p>建物4階部分は、客席200席とトイレしかないため、3階層以下の席を増やして4階を廃止することで、建設費用と管理費用の減少に役に立つ。</p>	<p>4階を廃止し、下層階に客席やトイレを設定しても、延床面積の大幅な抑制にはつながらないと考えられます。大ホールは収容人数だけでなく、優れた鑑賞環境を提供するため、各座席からの視線や残響時間などの様々な観点から検討する必要があります。これらを踏まえ、舞台から客席最後方までの距離や舞台間口と客席空間全体の大きさ、客席階層の構成などを設定することとなります。また、「みんなの劇場」として、様々な鑑賞スタイルや多様な特性に対応するための工夫も求められます。</p> <p>併せて、大ホールの使用人数に合わせた客席の納まりなどにも配慮することとしています。例えば、1,300席の大ホールを定員以下の人数で使用する場合、客席全体が閑散としないような充足感のある各層の客席数を設定する必要があります。</p>
13	<p>■吹き抜けについて</p> <p>吹き抜けが多いが、空調管理のランニングコストを考えて設計しているのか。機能分離をして、ホールと生涯学習機能、児童館機能を分けて、利用していないところに空調コストがかからないようにすべき。吹き抜け部分の面積が1,500㎡を超えており建築コストが上がるのでは。</p>	<p>吹き抜けは、上下階の集いや交流を深め、「見える・聞こえる・気づく」を誘発し、来館者同士の関係性を構築する仕掛けとして、必要なものと考えています。</p> <p>ホール機能と生涯学習機能、児童館機能の配置については、基本理念を達成するために掲げている基本方針の「心を癒し、活力を養う」「異なる価値観や文化に出会い、自分を再発見する」「人・ことに興味を持ち、対話を広げる」「出会いからつながりを、集いから交流を創出する」「好奇心を探求し、楽しいを見つける」</p>

		<p>といった趣旨に合致するため、それぞれの機能を分離することは考えておりません。</p> <p>吹き抜け部分の面積は、建築コストや空調に関するコスト(ライフサイクルコスト)を考慮し、十分に検討した上で設定することとします。</p>
14	<p>■安全性について</p> <p>安全への配慮として、吹き抜けやホールまでの橋が危険と思われる。</p>	<p>関係法令に基づき設計を行うため、十分な安全性は確保できるものと考えますが、危険性がなく不安にならないような仕様を更に検討してまいります。</p>
15	<p>■1階諸室の外向き扉について</p> <p>1階の部屋から外部へ直接出られるのは理由があるのか。</p>	<p>利用者の多様な活動を想定し、創造性や新たな関係性を生み出す仕掛けとして対応したものです。</p>
16	<p>■建物の外観について</p> <p>建物が見栄え重視で、費用がかかりそうな外観である。凹凸も雨漏りが懸念される。</p>	<p>外観の仕様については、建築コストだけでなく、維持管理費や将来的な改修(ライフサイクルコスト)の抑制を十分に意識し、今後更に検討を進めます。</p>
17	<p>■施設整備の考え方について</p> <p>劇団四季の受入れという話が出たが、何でも受け入れられる劇場であるということだけでなく、特徴があって「ここならではの使い方ができる」ということだと思う。旧市民会館は、音響が良く、音楽関係の方に評判が良かった。規模のみを議論するのではなく、実際にどうやって使っていくのかという視点も大切。</p>	<p>前述No.13 のとおり、整備計画の5つの基本方針を具現化するためのハード整備と施設で実施する事業が連動する必要があると考えています。様々な鑑賞スタイルや多様な特性に対応するためには、管理運営者が提供するだけでなく、活動する主体者や利用者が創造性を高め、新しい価値を生む施設であるべきと考えます。</p>
18	<p>■施設整備の考え方について</p> <p>北海道にある小さいホールで、クラシックの国内外の一流演奏家を呼び、常に満席にするという活動をしていた。地域のアーティストの育成とかや若手育成に行い、様々な問題にも取り組んでいたのが、丸亀の基本構想にとっても共感した。</p> <p>大切にしたいのは、使い勝手というより、お客さんが毎回満杯なのが嬉しい、とても良いと</p>	<p>過去のアンケート結果によると、市民会館を頻繁に利用する方は、全体のおよそ 5%に留まっています。また車座集会では、経済的理由や身体的な特性から市民会館を利用できなかったというご意見も伺っています。</p> <p>新しい市民会館「(仮称)みんなの劇場」は、文化芸術基本法の趣旨を鑑み、すべての市民に文化芸術の恵沢を届けることを見据え、ハード面の合理的配慮や基本理念を達成するた</p>

	<p>快くりPEATしてくれろというこ。限られた人の利用者だけが、認知されて通うのではなく、市民の多くが自分の居場所と感じ、親しみを持ってくれるかというところ。</p>	<p>めのソフト事業についても、丁寧に取組んでまいります。</p>
19	<p>■小ホールの規模について</p> <p>小ホールは、稼働率が高いので 350 席はほしい。現在の設計では小ホールが狭いと思われ、200 席程度ではイベントのとき、狭すぎて使えない。</p>	<p>小ホールの座席数につきましては、整備計画では県内同類施設の現状を参考に、間口 6 間、奥行き 6 間の舞台と 250～300 席の客席を設定していましたが、基本設計修正案では 200～250 席で検討を進めています。</p> <p>小ホールは大ホールよりも、市民の文化芸術活動の利用頻度が高く、様々な演目に対応できることが求められており、公演やイベント目的だけではなく、市民が利用しやすい規模とすることが肝要であると考えています。</p> <p>そこで、用途に応じて舞台の奥行きを可変できる機構を採用し、最大 300 席を確保できるように検討します。</p>
20	<p>■ピアノ庫、通路について</p> <p>ピアノ庫が、小ホールと大ホールにあり、またスタジオでもピアノを使う可能性がありそうなので、通路をピアノが通るかよく検討するべき。</p>	<p>ピアノ庫については、できる限り移動距離を短くするように、利用頻度の高い大・小ホールそれぞれに近接して配置しています。</p> <p>通路幅については、具体的な管理運営を想定して設定することとしています。更に、専門的な情報収集に努め、丁寧に設計を進めてまいります。</p>



21	<p>■生涯学習機能と児童館機能について</p> <p>生涯学習や児童館などコミュニティの複合化は良い案であるが、利用者としては、機能分離の方がコンサートなどでは余韻を楽しむことができる。マルチスペースや練習室を2階に集約することはできないか。</p>	<p>各諸室の利便性、快適性は十分に考えて設計を進めます。マルチスペースや練習室など諸室を2階に配置した場合、大ホールでのコンサートや有料公演の場合、2階が観客席への出入り口となることから、利用者同士が干渉する可能性があります。このため、人の流れをつくり、活動促進が見込まれる1階に創造支援機能を集約しています。</p>
22	<p>■生涯学習機能と児童館機能について</p> <p>利用者だけでなく、普段その場所を使わないけど通る人にも明るい雰囲気を感じてもらうことが大事だと認識している。児童館が複合することは良いことで、子どもが日常的に来るような場所になり、親も一緒に来やすいという強みもある。地域のアーティストや若手の育成を考えたときに、市民会館を利用してくれた子どもたちが増えていくことで、今後市民会館で活動したいという思いが芽生える。</p>	<p>基本設計修正案で生涯学習機能と児童館機能を併設することとなり、前述No.13の整備計画の基本方針を更に具現化するための機能が強化するものと考えています。</p> <p>幼少期から多彩な文化芸術を体験することは、児童の非認知能力の獲得向上にも効果があるとされています。</p> <p>文化芸術活動が市民の暮らしにより近い存在として位置づけられるとともに、世代間の交流も促進すると考えられます。</p>
23	<p>■市民ひろばについて</p> <p>映像では市民ひろばを芝生にしていたが、育った木を大事にして欲しい。</p>	<p>イメージパースの動画では、市民会館と市民ひろばとの関係性がイメージしやすいように、仮に樹木や構造物を省略したものです。市民ひろばの整備については、今後検討する予定としておりますが、既存樹木を最大限に生かすように努めてまいります。</p>